

Sonica DAC の展開(18) —PC ストリーミング音質(3)—

1. はじめに

[前報 \(17\)](#) に引き続き、今度はPCを替えてみてPCストリーミング音質を確認することにします。

2. Sonica DAC の試聴方法

前報 (16) では、ネットワーク構成の変更により PC の接続を WiFi から LAN ケーブル接続に替え、さらに LAN ケーブルを替える検討を行いました。また、前報(17) ではネットからのストリーミング再生の信号通過機器の電源ケーブルにフェライトコアを適用することを実施しました。

今回は、仕事用の PC を W7 機から W10 機に更新しましたので、試しに音楽用として使っている W8.1 機と置き換えて W10 機とした場合の音質も確認することにしました。W10 機の仕様は、【型番：東芝製 PAZ65CW-SJF、Corei7、64bit、8GB メモリ、480GB SSD 搭載】で静音、高速仕様です。つまり、通常の HDD 仕様の W8.1 機から SSD 仕様の W10 機とした場合の音の変化を調べてみることにします。

さらに、PC オーディオではどうかということで、HQPlayer と KORG の AudioGate3 による再生を行おうとしましたが、HQPlayer はサポート中止になっており、AudioGate3 も販売中止になっています。TASCAM の Hi-Res Editor は、現在も無料ダウンロードできますので、これを使用することにしました。

3. Sonica DAC の試聴結果

音源は前報 (16) 同様、ベルリンフィル DCH の再生です。W8.1 機から W10 機を置き換えますと、一聴して静寂感が向上して静寂の中から音が湧き出るような印象です。それによってディテールの再現、楽器の質感、オケの分離の向上が認められます。特に低弦やグランカッサの弱打の明瞭さが際立っています。これまでベルリンフィル DCH の再生には種々の対策を講じてきていますが、これほどの効果が PC の交換によって出現するとは意外でした。

さらに、PC オーディオの Hi-Res Editor での 11.2MHzDSD 音源の再生では、W8.1 機から W10 機を置き換えますと、静寂感が向上により、いかにも DSD 音源らしいソフトで音楽の表情の豊かさがでてきます。なお、音源は、W8.1 機では内臓 HDD に、W10 機では内臓 SSD から読み出していますので、そのことも寄与しているものと思われます。



以上から、音楽用 W8.1 機を W10 機に置き換えたいところですが、仕事用とした場合の W10 機の高速処理の使いやすさを考えると、W7 機に戻ることや使いにくい W8.1 機とすることには躊躇するところで、悩ましいことになりました。

4. まとめ

HDD 仕様の W8.1 機に比べ、静音、高速仕様の W10 機は、格段に音が良いことが分かりました。

以上